

映画 「ああ、ひめゆりの塔」 壮年H

此の映画は、昭和40年頃制作されたモノクロ映画で、太平洋戦争末期の沖縄戦に従軍したひめゆり学徒部隊について描かれた映画で、主演は吉永小百合さん、和泉雅子さん、浜田光夫さん等です。僕は此の映画を中学校一年生の時に学校の体育館で全校生徒が一同に集まって皆で観ました。其して、此の映画が僕の幼い心にどれだけ衝撃を与えた事か？中でも、映画の中で負傷した兵隊さんの足を麻酔なしで、のこぎりで切るシーンが一番印象的でした。映画が終わったら、女の子達は皆泣いていました。ストレートに云ったら、凄く気持ち悪かったです。

併し、当時の日本に於いて、此んな事が実際に在ったのです。

ひめゆり部隊は、結局、最後には全員自決するのですが、ラストでは主演の吉永小百合ともう一人の女学生だけが生き残ったのですが、其の二人もラストシーンでは波打ち際でお互いが短刀で刺し合って手榴弾で自決するのです。その後は只、波の音がザーザーと聴こえるだけでした。僕は其のラストシーンも未だはっきりと覚えています。振り返れば、僕がこの映画を観た事は僕の思春期における一大出来事でした。

心身を回復してくれる、

大自然、夏の上高地

KAZU

人生には仕事や責任、さまざまな苦勞があります。しかし、時には日常から離れ、大自然の中で静かな時間を過ごすことも大切です。

夏の上高地に立つと、澄んだ青空、清らかな梓川、緑あふれる森、そして雄大な山々が迎えてくれます。その美しい景色を眺めていると、心の中にたまった疲れや不安が少しずつ消えていくように感じます。

自然は何も語りませんが、静かに人の心を励まし、生きる力を与えてくれます。長い人生を歩んできた人にとって、有り難う上高地の大自然は、これまで頑張ってきた自分を癒やし、明日への希望を与えてくれる場所です。

句 水澄むや 河童橋より 奥穂高
爽涼や 写真撮り合うふ 河童橋
上高地 穂高を仰ぐ 茂りかな
湖の 底の枯木や 夏の雲
涼風や 友の消印 上高地

KAZU



クイズ
こたえ

■漢字 あなうめクイズ / ①市 ②気 ③生

■脳トレ クイズ / 格さん(格之進)

らいか
来果

医療法人桜桂会
就労継続支援B型



来果では一緒に作業をする仲間を募集しています。

焼きたてパンや、朝カフェ・昼カフェが好評の来果で、働く練習をしてみませんか？

来果とは

利用者が自立した生活を営むことができるよう、また、就労に向けての生産活動やその他の活動の機会を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練や支援を行う所です。
利用できる方は主に精神障がいをお持ちの方です。
作業はパンを焼く作業、喫茶店の作業、内職を行う軽作業があります。

開所日：月・火・水・金・土

休日：木曜日・日曜日・祝日・年末年始など

開所時間：8:30～16:00

問い合わせ先
〒484-0094
愛知県犬山市塔野地
大畔216
TEL: 0568-63-0240
来果



●工賃：コマ給(時給)制

条件に応じて、奮闘手当・リーダー手当あり

夏・冬・年度末に特別手当(ボーナス)あり

●犬山駅から送迎バスあり(犬山病院バス)

●メンバー割引あり(パン・昼カフェ)

●新商品・サンプルパンの試食、試飲あり

詳細についてはお問合せください

1日の流れ

9:30～ 朝礼
9:45～10:45 ①作業
10:45～11:00 休憩
11:00～12:00 ②作業
12:00～13:00 昼食休憩
13:00～14:00 ③作業
14:00～14:15 休憩
14:15～15:15 ④作業・掃除
15:20～ 終礼

★レクや行事が年に数回あります

＜来果メンバーの声紹介＞

・利用して精神力がついた
・仕事があることが生活の支えになっている
・作業は疲れるけど、終わるとすがすがしい
気持ちになる
・居場所があるので安心感がある
・週1日、1コマからOKなので無理なく働ける
・お小遣いが増えて嬉しい